

製品名: NAA10 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81831**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	26.5kDa

抗原情報

遺伝子名	NAA10
別名	TE2; ARD1; NATD; ARD1A; ARD1P; OGDNS; DXS707; MCOPS1
遺伝子 ID	8260.0
SwissProt ID	P41227
免疫原	大腸菌で発現したヒト NAA10 (AA: 111-235) の精製組換え断片。

背景

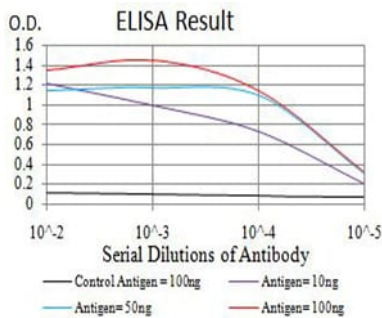
N- α アセチル化は、真核細胞において最も一般的な翻訳後タンパク質修飾の一つです。このプロセスは、アセチルコエンザイム A のアセチル基を新生ポリペプチドの α アミノ基に転移させるものであり、正常な細胞機能に不可欠です。この遺伝子は、主要なアミノ

末端アセチルトランスフェラーゼ A 複合体の触媒サブユニットとして機能する N 末端アセチルトランスフェラーゼをコードしています。この遺伝子の変異はオグデン症候群の原因です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

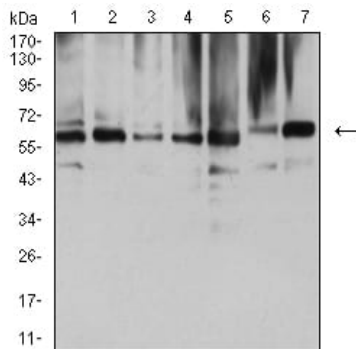
研究分野

-

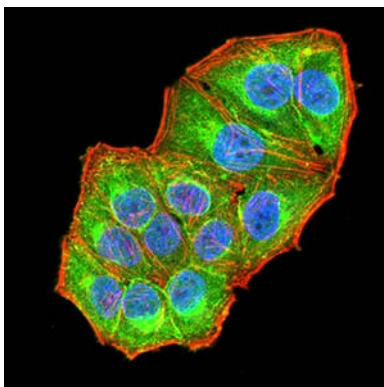
画像データ



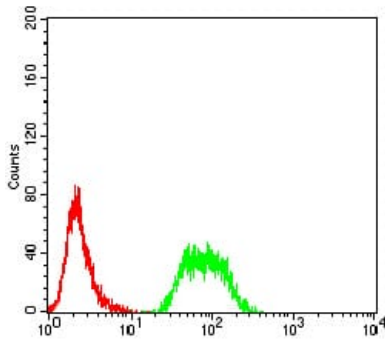
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



COS7 (1)、HEK293 (2)、HL-60 (3)、MCF-7 (4)、Hela (5)、NIH/3T3 (6)、および C2C12 (7)細胞溶解物に対する NAA10 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



NAA10 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



NAA10 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した SMMC-7721 細胞のフローサイトメトリー分析。